

## 新規上場企業の社長会見コメント

大証ヘラクレス市場      新規上場企業      「ゼンケンオール」  
6月8日                      水曜日上場              岸良光社長

### < 問い：事業内容ではどのような特徴があるのか >

岸：「ゼロ歳児から中学生までを対象にした子ども向けの英会話教室を運営している。全研本社が行っていた事業うち、幼児童や中学生を対象にした早期英会話教育事業を2001年に分離、独立して発足した。売上構成比は全体の約8割が授業料収入であり、これが安定した収益体質のベースになっている。今年2月末では1029教室を展開しているが、その約75%が関東圏での開設だ」

### < 問い：どういった点に強みがあるのか >

岸：「ひとつは地域密着型の教室開設。地図情報システムを駆使し、子どもが通うという利便性なども考えて住宅地中心にピンポイントで開設しており、これが圧倒的な低コスト開設を可能にしている。他の多くの英会話教室が行っているような成人を対象にした駅前での開設に比べ、コストは10分の1や場合によっては20分の1という少なさで済む。また、オリジナルのセット教材や講師が日本人であるという点も当社の強み。講師については小さな子ども達の微妙な心理にも気配りでき、保護者からの様々な相談にも耳を傾けるにはやはり日本人が適している」

### < 問い：今9月期の業績見通しはどうか >

岸：「売上高は小幅増収（1%増の63億5300万円）を見込んでいるが、経常利益は減少する予想（17%減の8億3000万円）。これは教師の待遇改善を行ったことが要因だ」

### < 問い：当面の事業戦略ではどういったことに注力する考えか >

岸：「まず、新規教室の開設を積極したい。ここ3年ほどはマーケットの整備に取り組み、新規開設はほとんど行ってこなかったが、今期からは積極的に新規開設し、今期は40ヶ所を開設する計画。首都圏ではまだ200ヶ所ほどの開設余地があると見ており、これから数年は毎年40ヶ所を超えるペースで開設していく。その後は全国の主要都市に進出していくというのが基本構想だ」

### < 問い：株価は30万円の公開価格に対し、きょうはその2.2倍の66万円で初値を付け、その後も上昇したが感想はどうか >

岸：「株価は市場が決めるものだが、きょうはこの現実を率直に、そして厳粛に受け止めている。今後は投資家の期待に応えられるように頑張っていきたい」